

株式会社 木村铸造所 御前崎工場

【宣言内容】

- ◆従業員が仕事と子育てを両立することができる、働きやすい職場環境を確立します
- ◆各種研修・通信教育等を推奨し自己啓発を支援します



事業所としてのメリット

株式会社木村铸造所本社総務課長の笹原睦也さんに、男女共同参画社会づくり宣言事業所としての取り組みを聞きました。

「当社は、発泡スチロール模型を製作し鋳物にする『フルモールド鋳造法』を導入し、機械加工まで一貫生産を行う鋳造工場です。先端のデジタル技術は、従来の鋳物工場のイメージを一新しました。

また、男性も女性もそれぞれの個性や能力が発揮できる職場づくりに全社をあげて取り組んでいます。宣言内容にもあるように、各種研修・通信教育等を推奨し、自己啓発を支援することに力を入れています。社員一人一人の能力や意欲が向上することは、会社全体のパワーとなり、ひいては、生産性の向上につながると思います」。



笹原睦也さん
株式会社木村铸造所 総務課長

女性ならではの感性大切

「社員教育は、階層別研修・職種別研修・スキルアップ研修など様々な分野で行っております。接客部門の女性を対象に、接客プロジェクト塾を実施したり、女性による職場巡視も行っております。接客マニュアルを作るにあたっては、女性ならではの良いアイデアがたくさん出されました。その報告は、全社に発表され、他の工場にも展開するなど、女性社員のやりがいにつながったと思います。応接室や通路に絵画を飾ったりシューズクリナーを置いたりすること

など、ちょっとした気遣いは男性社員にはできないものです。女性の特性を生かした仕事をやってくれていると感謝しています。男性が多い職場だけに女性ならではの優しいおもてなしの心は大切にしたいと思います。会社規則は社員全員が閲覧できるようにパソコンを各部署に置いてあります。育児休暇に關してはだいぶ進んできているように感じますが、介護については、まだまだ休暇を取得する人はいません。会社としては、スキルが上がってきた人が介護をやめてしまうのはつらいことですが、今のところは引き留めても退職してしまいます。育児と違つて先が見えないところがあからずうでしょう。

社会全体として女性の就業は重要視されています。鋳造のような専門的な分野には女性の就業が少ないのが現実です。機械化が進み、体力に依存しない作業が拡大し、この業界にも女性が躍進することを願っています。多くの女性に期待しています。

育児休業を取得して思う

同社に勤務する川村久美子さんは、3歳と1歳になる2人の

お子さんを持つお母さん。育児休業を1人目の時は1年、2人目の時は9カ月取得しました。9時～16時の育児短時間勤務も取得した川村さんに、男女共同参画について聞きました。

「二度仕事を辞めてしまうと、再就職が難しいことは分かっていた。この会社では、いい仲間恵まれていたので、再び同じ仲間と働けたことは本当に良かった。子どもの成長をそばで見ることができたこともありがたかったです。職場復帰しても、子どもの体調不良など急な休みなどで同僚や上司に迷惑をかけることを申し訳なく感じていたのですが、とても理解のある職場で有給休暇も取りやすい環境にあります。

自分の経験上、休む前と復帰するときの所属部署が同じだと、仕事にもスムーズに復帰しやすいと思いました」。



川村久美子さん
株式会社木村铸造所 総務課